

平和構築・紛争予防修士英語プログラム (PCS)

東京外国語大学
大学院地域文化研究科
国際協力専攻

プログラム
ディレクター 伊勢崎 賢治

2008年4月度版



PCSプログラムとは

- 平成16年4月 開設
- 授業は全て英語。
- 少人数制、紛争地域を含む多国籍による学生構成。
(19名、17カ国、博士後期含む。2008年度)

PCS 教育目的

- 平和構築における、知識と実践スキルの育成をセミナーやインターンシップによって培う。
- 平和紛争学のカリキュラムおよび教育手法の発展をめざす。
- 学生中心による授業、
- 様々なバックグラウンド、文化を土台にした考えを共用。

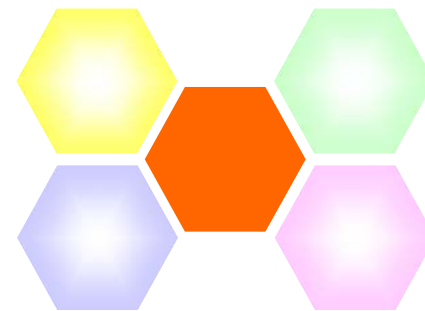


期待される成果

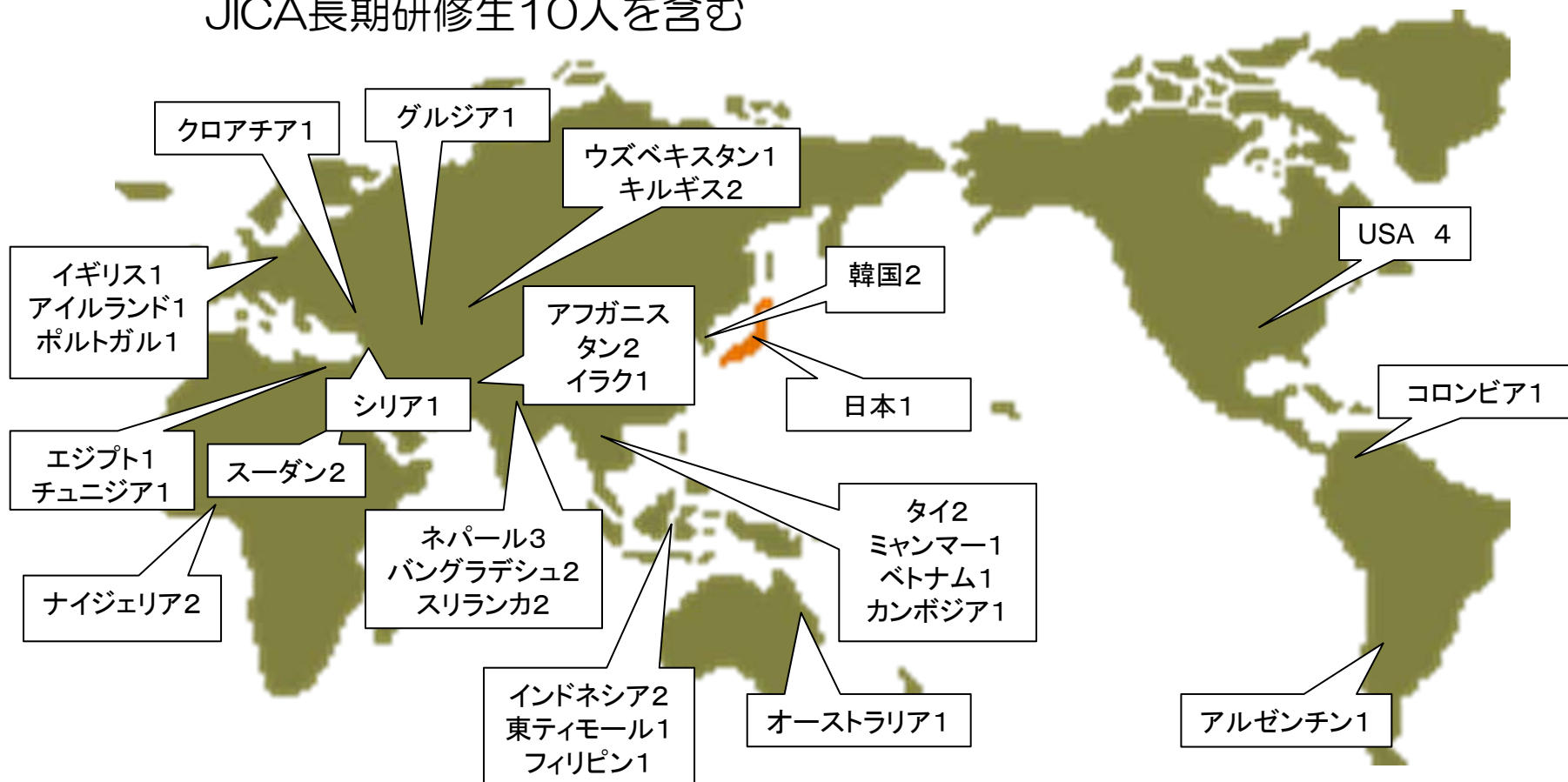
卒業生は現場での平和構築、紛争予防のミッションを執り行なう、必要十分な理論能力、実践経験を積み、プロフェッショナルな人材として、政府、研究機関、NGO、NPOで活躍していく。

1

留学生、とくに紛争国から



現在までに在籍した総学生数44人
多様な留学生の受入（出身国数：30ヶ国）
国費留学生9人
JICA長期研修生10人を含む

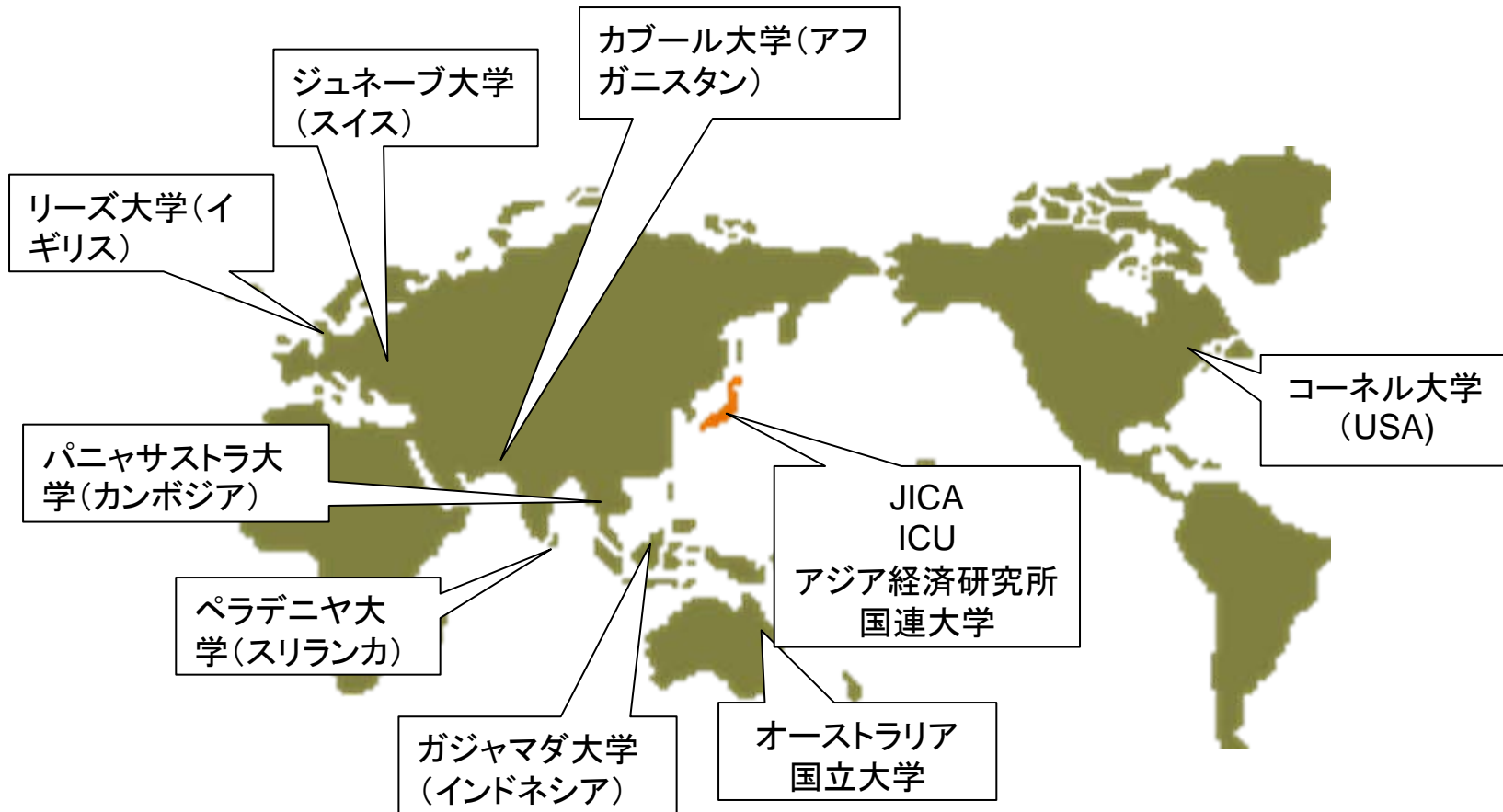
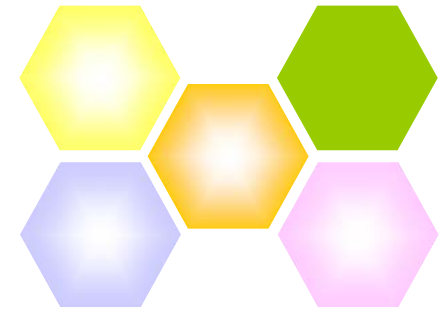


2008年4月1日現在

2

教育手法の工夫

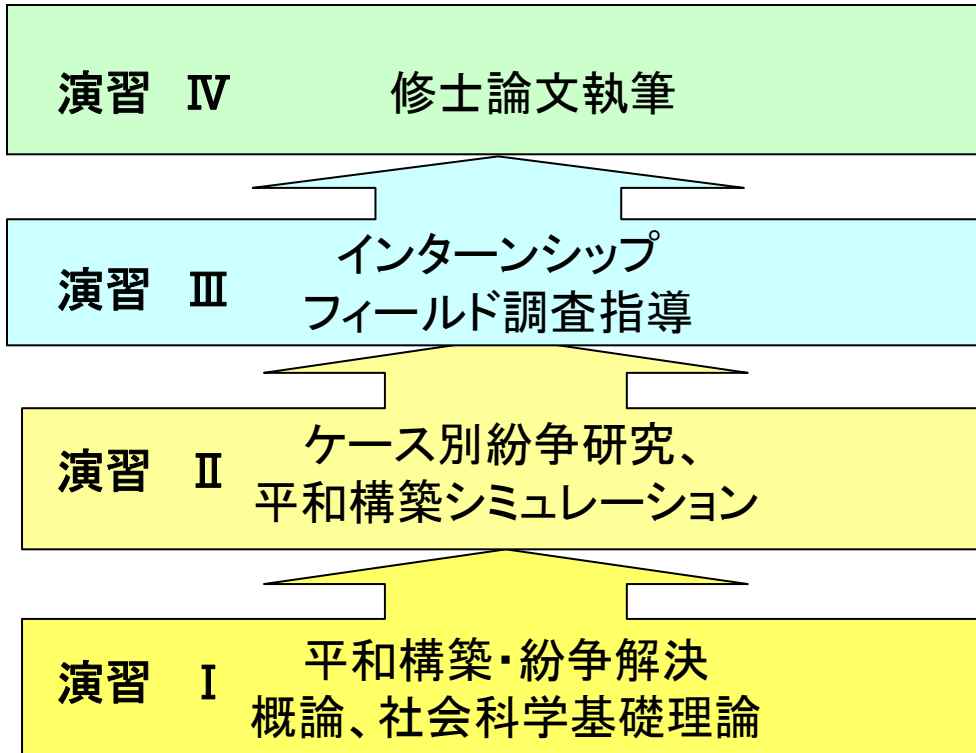
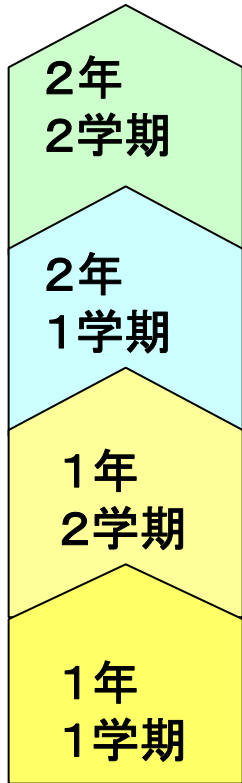
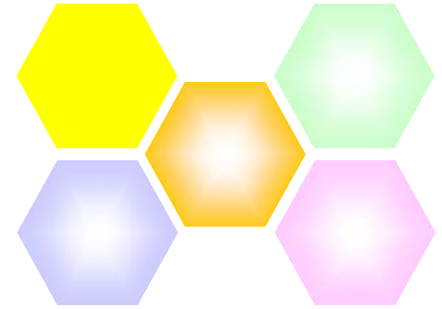
海外・国内諸機関との連携



3

教育課程

PCS演習 I・II・III・IVを中心にした体系的なカリキュラム。使用言語は英語

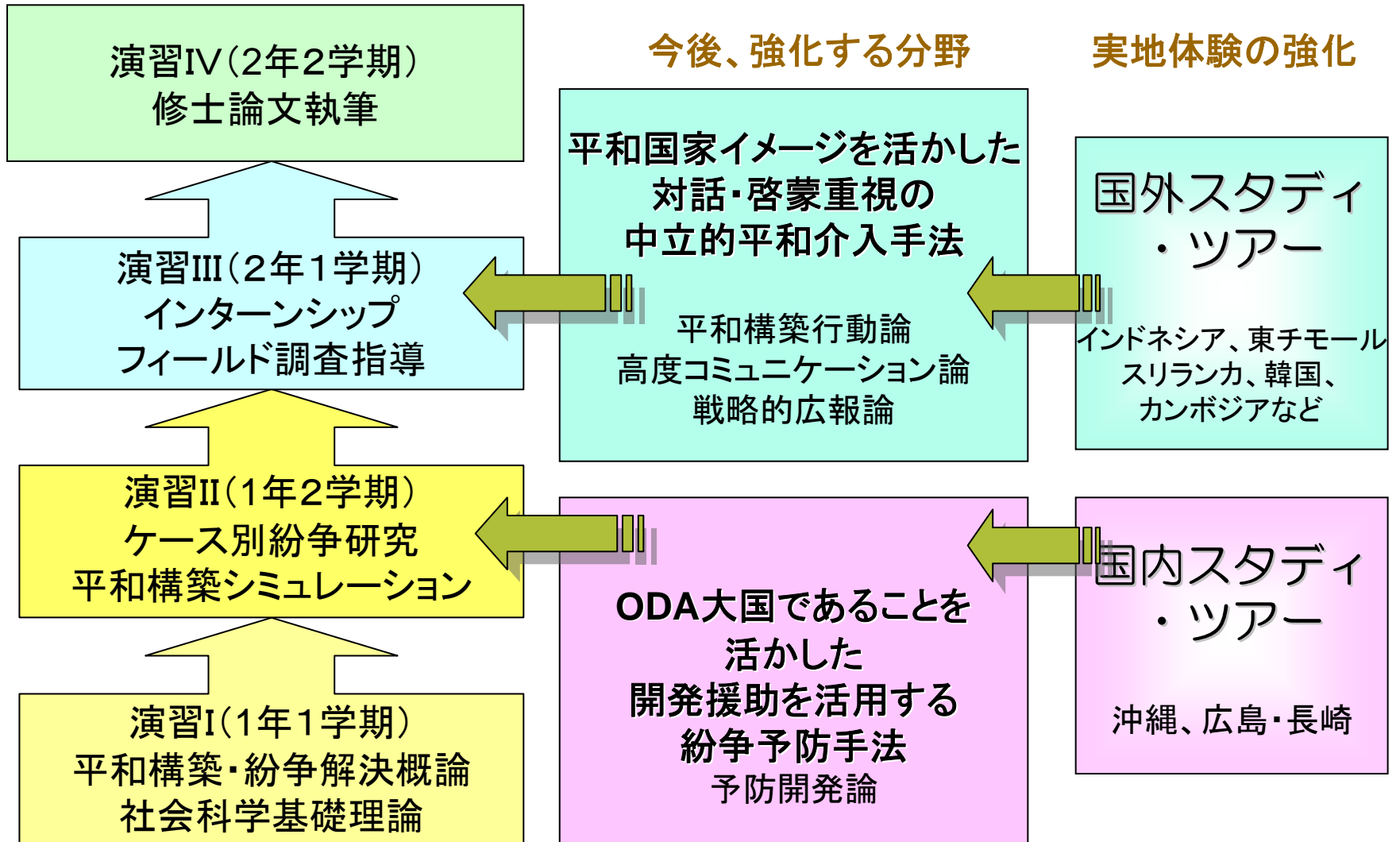


複数教員による
チームティーチング
各授業は2コマ連続3時間

専攻専門科目(必修)
PCS演習 I、II 8単位
専門特殊研究(必修)
PCS演習 III、IV 4単位
専攻関連科目(選択必修)
PCS研究方法論
国際法・国際協力
平和研究
平和構築
危機管理
中東地域の平和と戦争
アメリカ地域の平和と戦争
日本と東北アジアの平和
と戦争 などから18単位

今後の発展：日本独自のPCS教育の拡充

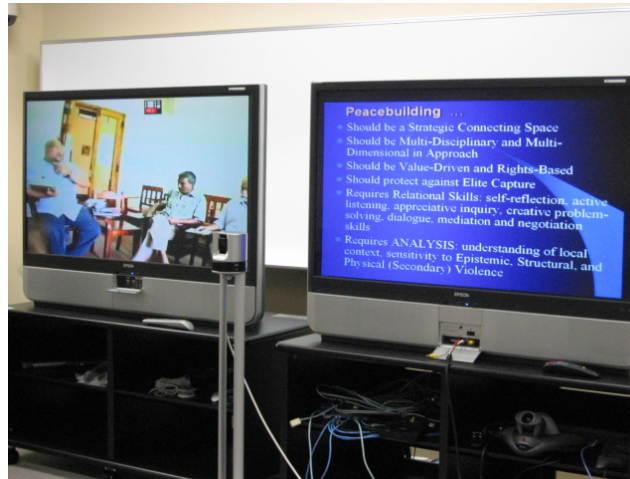
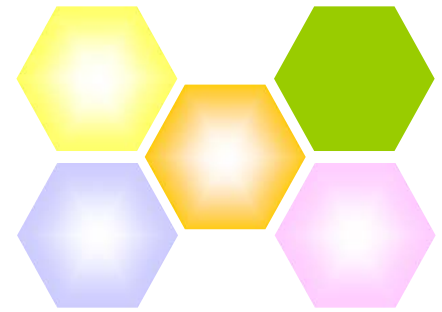
本プログラムのカリキュラム



4

グローバルキャンパス プログラム

インターネットを使って海外提携校との同時授業



- リアルタイムでの各国教授によるレクチャー。

- 様々な文化背景、バックグラウンドを持つ学生同士が、活発な意見交流を行なう。



参加校(平成19年度)

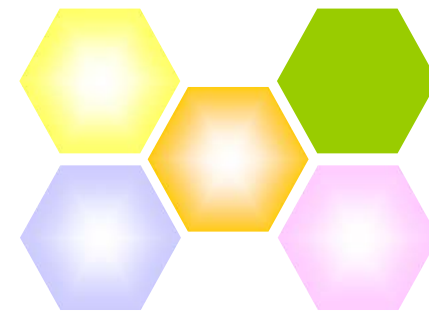
- ・ガジヤマダ大学 (インドネシア)
- ・パニヤサストラ大学 (カンボジア)
- ・ペラデニア大学 (スリランカ)

各国の学生が、自分の大学で、国際的なクラスを実現。

5

実践力の養成（1）

国内・海外スタディーツアー



平成19年度実施例

- 沖縄：修士1年生
 - ・ひめゆり平和祈念資料館
 - ・ぬちどう宝の家
 - ・アハシャガマ
 - ・沖縄平和祈念公園
 - ・沖縄キリスト教学院大学
- 韓国：修士2年生
 - ・慶熙大学 平和学大学院
 - ・戦争記念館
 - ・延世大学
 - ・安保観光ツアー
 - ・地雷埋め立て地

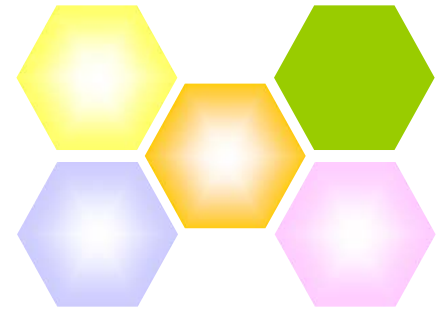


現場からの平和学習を重視。現地の人々との交流。紛争跡地の訪問。

6

実践力の養成（2）

インターンシップ、
フィールド調査の重視



例：東ティモールでの
フィールド調査



- アナクレタ・フェルナンデス
東ティモール出身、
平成18年入学



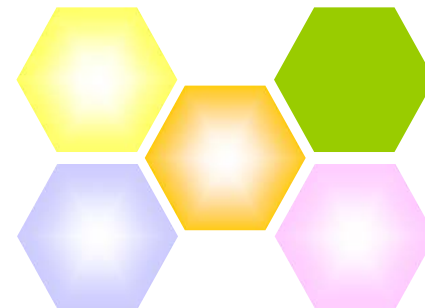
- 修士論文テーマ：
東ティモールにお
ける包括的和解
の可能性

映像：2007年7月1日NHK総合6時 海外ニュース特集にて放映

7

国際シンポジウム

国内・海外 学術交流、
ネットワーク拡大の重視



本プログラムの
社会的貢献を拡充。



- 9カ国から19名の専門家を招き、300名を超える参加者と共に理論・実践の両面から討議。
- 3つのセッションに分かれての講演と意見討論会。

「一平和の新時代へ向けて - 平和構築と紛争予防の新たなアプローチを探る」
2008年1月25日&26日 東京ファッションタウンビル研修室にて

PCSプログラム お問い合わせ

- 東京外国語大学 平和構築 紛争予防 講座
代表:伊勢崎 賢治
グローバルキャンパス ディレクター:今井 千尋
教育GP 研究員/プロジェクトディレクター :小峯 茂嗣
- 183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
- Phone&Fax:042-330-5472
- Email:pcs@tufs.ac.jp
- <http://www.tufs.ac.jp/common/pg/pcs/index.html>

